

2025 年 8 月 7 日

令和 6 年度証券経済学会年報 優秀論文賞

受賞論文：取越達哉「グローバル証券投資における中心性分析」

年報第 59 号掲載

証券経済学会年報編集委員会

委員長 川本真哉

選考にあたり、以下の基準で審査を行った。

- ・ 研究論文として独創性・先駆性があるか
- ・ 研究方法が適切になされているか
- ・ 研究論文の学術的価値・社会的なインパクトがあるか

受賞作は、以上の点の推薦水準で満たしており、令和 6 年度証券経済学会年報優秀論文賞にふさわしいとの結論に達した。

取越論文は、クロスボーダー証券投資のネットワークを対象に、現代における国際金融センターの地位の決定要因を明らかにしようとしている。クロスボーダー証券投資は、国際経済・国際金融の分野でも、学術的・実務的に高い関心をもたれているにもかかわらず、研究蓄積が十分とまではいえない分野である。こうした状況下において、対象変数として、クロスボーダー証券投資ネットワークに基づくページランク中心性指標を用いている点において本稿のオリジナリティが認められる。また、クロスカントリーデータを構築したうえで、固定効果分析でアプローチし、GDP や情報通信技術（ICT）が国際金融センターの地位等に影響を与えることを報告している。分析手法は手堅く、出された結論もクリアである。さらに、ICT 指標を追加することで国際金融センターへの ICT 発展の影響を可視化した点は、金融における DX 戦略にインパクトを与える可能性もある。当委員会は、これら対象の独創性、手堅さ、学術的・社会的意義の観点から検討を行い、全会一致で本論文が当該賞としてふさわしいとの判断に至った。